

## 令和2年度第3回青梅市図書館運営協議会会議録

令和2年11月13日（金）午後6時  
青梅市中央図書館多ボランティア室

### 1 あいさつ 会 長

### 2 協議事項 な し

### 3 報告事項

#### (1) 指定管理者による図書館の管理運営について

(委 員) 8月31日に吉川英治記念館と打合わせがあったということですが、企画展のような図書館と記念館との連携事業の予定はありますか。

(指定管理者) 記念館で配布するパンフレットに図書館にも吉川英治の本や青梅ゆかりの作家コーナーがあることを掲載していただくことや、企画展示において図書館と記念館資料の相互貸借をするなどの連携ができればと、打合せ内でお話ししました。

(事務局) 打合せ時にも、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もありなかなか思うように連携できないが、収束してきたら様々な連携をしていきたいとお話ししました。

(会 長) 一方で、郷土博物館と図書館は、何か打合せの機会を定期的に持っていますか。

(事務局) 郷土博物館と吉川英治記念館は、現在は共に文化課の所属となっています。先程の吉川英治記念館との連携も含め、文化課と連絡を取りながら進めています。

(会 長) 新型コロナウイルス感染症対応として、オンラインでの対面朗読を8月に試行実施したと報告がありましたが、試行期間中にトラブルはありましたか。

(指定管理者) 対面朗読については、実際に聞き手の方に中央図書館に来ていただき、読み手と聞き手が対面朗読室と隣り合うボラン

ティア室の二部屋に分かれ、二部屋間をWi-Fiで繋ぎ、オンラインで実施しました。

(指定管理者) トラブルについては、音が小さい、画像が止まるなどの不具合が発生しました。

(指定管理者) 利用者の感想としては、結構聞きやすい、こういう機会をもっといただいてありがたいという声が非常に大きいと感じました。8月まで全くこういう機会がなく、ダイジー図書の対応しかできなかつたので、時節柄のことを朗読して聞けるので喜びの感想の方が多い状況でした。

月2回のペースであれば図書館も対応出来ますので、継続して実施したいと考えています。

(会長) Wi-Fi環境の場合、画像が固まったり、音声途切れたりすることが多いようで、案外、有線LANの方が安定していると聞きます。とはいえ、オンラインでは、トラブルはつきものなので、試行錯誤であっても、コロナ禍で実施することは、良いことだと思います。また、隣の部屋であれば、トラブルが起ころうと、すぐに行って対応しやすいというメリットがあります。

(委員) 9月14日の「青梅の図書館を考える会と懇談」の説明中で、障害者向けのコミックスを購入できないかということについては、障害者向けのコミックスがあり要望しているのか、それとも、障害があるなしにかかわらず読める一般コミックスの中で特定タイトルの導入を要望しているのか、どちらでしょうか。

(指定管理者) 後者の御要望でした。会で都内公立図書館を調べたところ共通する特定タイトルが所蔵されているので、それを図書館で購入して欲しいという御要望でした。読んで心が温まるようなコミックスが中心だったと思います。聴覚障害を描いたコミックスは障害をお持ちの方自身も読める、それ以外の方も読んで理解を深められる、そういう意図もあったようです。

青梅市の選書基準は、コミックスを収集対象としていないので難しい旨をお話ししました。

(委員) こんな本を購入してもらいたいというリクエストは、市民であればリクエストできますか。また、団体も同じような扱いでしょうか。

(指定管理者) リクエストは個人としてお受けします。図書館に蔵書がないものについてはリクエストをいただき、図書館で購入または都内図書館等から借用の手続きを行い、利用者に提供します。資料の購入および借用の別については図書館にお任せいただきます。

(委員) 「青梅市図書館を使った調べる学習コンクール」(以下、「調べる学習コンクール」という。)の関連事業の中で、中央図書館3階カウンター前に「調べる学習」コーナーを設置して、お勧めパックを用意し、結果として10パック以上の貸出があったということですが、貸出パックを上手く活用した応募作品はありましたか。

(指定管理者) 応募作品の中に少なくとも2点あったと思います。残念なことに選には漏れました。

(委員) 調べる学習コンクールの結果ですが、市長賞が小学校の部の一人です。これは小学校、中学校の部を合わせて市長賞が一人なのでしょうか。

(指定管理者) 各小・中学校の部ごとに対象となります。今回、中学校の部は該当がありませんでした。

(委員) 調べる学習コンクールの関連事業の中で、「調べる学習について手順を追って説明した動画をYouTubeにアップ」とありますが、他の自治体でも行っている事例はありますか。

(指定管理者) 他の自治体でも、同じような事例があります。青梅市が初めてではありません。

(会長) 企画展示に関する報告で、8月に「追悼 前川恒雄」(梅郷図書館)、10月に「『多摩子ども詩集』に関する展示」(中央図書館)があったと報告があり、多摩地域にゆかりのテーマで、良い企画だと思いました。

ただ一方で、前回の図書館運営協議会においては、都立青

梅図書館初代館長の久保七郎氏に関する話題が上がりました。できれば、今後も地域性のあるテーマ、久保氏のような青梅ゆかりの人物、青梅の先人の方々の実践、青年団や婦人会等の身近な歴史を掘り起こした企画展示があったら、地元で知っている方は懐かしく思い、知らない方にとっては、調べる学習のテーマにも発展できるきっかけになるのではないかと考えます。青梅市図書館の分館は、ほぼ旧町村単位で分かれていますので、旧町村の歴史や人物をそれぞれの分館の企画展示で採り上げていただけると、とても意義深い展示になると思います。一から歴史を掘り起こすことは大変な作業ですが、御考慮いただけたら幸いです。

(指定管理者) 中央図書館では、通常展示として、4階で青梅にゆかりのある方の図書資料の展示を、3階で吉川英治や干刈あがたなどの著作を一般図書のコーナーに展示しています。それ以外のお祭りやマラソンなどの事業開催時には関連図書の展示を行っています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業関連図書の展示はできなかったこともありました。

今後も青梅の地域性を捉えた展示を用意していきたいと考えています。

## (2) 青梅市図書館指定管理者候補団体選定結果について

(事務局) [資料にもとづき説明]

## (3) 現在の青梅市図書館運営状況について

(事務局) および (指定管理者)

[新型コロナウイルス感染症対策を講じた運営を説明]

(委員) 図書館の運営についてですが、災害時の避難の受け入れが図書館の機能の中に含まれていますが、それは、今、図書館の公共的な役割として、図書館界の中で話題になっていることなのでしょうか。

(事務局) 市全体として、公共施設については、災害発生時に対応可能なところで避難所を開設する体制を準備していくことを考

え、進めている状態です。

青梅市図書館の場合は指定管理者に運営をお願いしていますので、運営時間中に大きな災害が起こってしまった場合、指定管理者に協力依頼をして、いわゆる帰宅困難者の方に対して図書館の多目的室を開放し対応していきたいと考えているところです。

(指定管理者) 指定管理者は図書館の運営で市から予算をいただいているので、大災害が起こった時の被害者への対応については運営業務外になります。整備が今後必要になると思います。

(事務局) 今後、どのような形で災害時に対応できるか調整を図ってまいります。

#### 4 その他

(事務局) [次回、開催時期について説明]

(会 長) 以上で、本日予定しておりました案件は全て終了いたしました。委員皆様にはご協力賜り大変ありがとうございます。

これをもちまして令和2年度第3回図書館運営協議会を閉会とさせていただきます。